

# 第60回全国消防技術者会議の開催報告

## 消防研究センター

### 【会議概要】

平成24年10月25、26日（木・金）の2日間、全国消防技術者会議が、東京都港区虎ノ門のニッショーホールにおいて行われました。この会議は、消防防災に関する調査研究、機器開発等の成果を発表し、広く消防防災にかかわる関係者の情報共有、意見交換の場として行われ、今回の会議で第60回を迎えることとなりました。前回までは聴講者募集の案内を消防関係者に限り出していましたが、今回は消防関係者以外の方からも広く聴講者を募り、2日間で延べ527人のご参加をいただきました。



岡崎長官あいさつ



山口教授特別講演

会議一日目午前は、松原美之消防研究センター所長の開会の辞、岡崎浩巳消防庁長官の挨拶の後、特別講演となりました。特別講演は、杏林大学医学部救急医学教室山口芳裕教授より、「福島原発事故対応を踏まえた放射線被ばく医療の基礎知識と留意点」と題してご講演いただきました。

昼休みの時間を利用し、ロビーにおいて6件の一般展示発表と1件の消防研究センター展示発表が行われ、午後は3つのセッションに分かれ16件の一般口頭発表が行われました。

会議二日目は、午前中に3件の消防研究センターの研究発表、及び「消防防災科学技術研究推進制度」で実施された4件の研究発表が行われました。

昼休みには、同日午前中に別会場で行われた「平成24年度消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文及び原因調査事例報告に関する表彰」の受賞作品展示発表がロビーにおいて行われ、午後は同表彰受賞の「消防防災科学論文」5件、及び「原因調査事例報告」7件の口頭発表が行われました。

### 【特別講演】

杏林大学医学部救急医学教室山口教授による「福島原発事故対応を踏まえた放射線被ばく医療の基礎知識と留意点」では、救急医学・放射線医学をご専門とされる先生が、福島原発で対応を行った消防隊に同行し、医療アドバイザーとして隊員と共に第一線で活動したご経験を交えて放射線被ばくを中心としてご講演をいただきました。学術研究の内容のみならず現場での実例に基づくお話は、常に現場と向き合っている消防隊員、学術研究と現場を結びつける消防防災関係者、更には放射線という見えない危険性に対応するための知識として、一般の聴講者に至るまで、幅広く興味深い有用な講演となりました。



研究発表会場の様子



展示発表の様子

### 【研究発表】

第一日目午後に行われた一般発表では、「安全対策・消防戦術」セッションに5件、「機器改良開発」セッションに7件、「原因調査」セッションに4件の発表がありました。いずれのセッションでも、日常の活動の中から生まれてくる創意・工夫、調査事例の発表であり、聴講者との間に活発な討論がなされました。

第二日目は、午前には消防研究センターの研究報告3件と消防防災科学技術研究推進制度で行われた4件の発表が行われました。いずれも、学術研究と現場を結びつけるものとして新しい手法、知見を提供するものでありました。特に消防防災科学技術研究推進制度での発表は、新規の機器開発が報告され、より実用的に現場で利用できるよう期待の高まるものでした。

続いて午後に行われた、平成24年度消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文及び原因調査事例報告に関する表彰受賞作品では、「消防防災科学論文」と「原因調査事例報告」の2つのセッションに分かれて発表が行われました。消防防災科学論文では、実用的に適用できる手法に対して理論的考察を加えられたものが多く、また原因調査事例では一日目の一般発表原因調査セッションと同様に、実際に起こりうる事例として参加者に非常に有用な発表となりました。

### 【展示発表】

第一日目、第二日目の昼休みを利用して行われた展

示発表においては、創意工夫、また新規開発した実機を展示しての発表であり、参加者は実際のものの動き、また利用法を見ることで自らの日常の活動と重ねあわせ体験できることにより、両日ともに盛況のうちに行われました。

今回の会議は、第60回を迎えることでもあり、会議資料の末尾に第1回から第60回までの、全ての発表（特別講演・一般口頭発表・一般展示発表・表彰口頭発表・表彰展示発表）のタイトルが添付されております。これらの発表数も60回で1,284件に上っております。今までの蓄積を将来へ活かすことができるよう、これら資料をご利用いただきたいと考えております。

次回、第61回全国消防技術者会議も、平成24年と同時期の開催が予定されております。発表及び参加等の詳細に関しましては、決定次第、消防研究センターのホームページ (<http://www.fri.go.jp/>) 等によりご案内させていただきます。全国の消防職員、また消防防災関係者の多数のご応募、ご参加、また一般のみなさまがたの多数のご聴講をお待ちいたしております。

#### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331(代)